

バグダッド日誌(1月17日)

- 国
- ・ IZで勤務されていた元在京豪州武官の [] が本日帰国の途につかれた。
 - ・ 今日、朝から日本コンテナに、通常の倍の人数が集まって、申し送りを行っていた。そこに大佐から電話があった。
 - ・ 帰国途中にキャンプ・ヴィクトリー内の豪州司令部で、司令官に帰国報告をする。その後バグダッド国際空港へ移動するという。その間のわずかな時間に、我々に会いに来てくれた。
 - ・ 我々のIZへの初訪問に伴う受け入れやIZ内の施設案内、8師団長及び政策アドバイザーの受け入れ等、重要な結節における大佐の支援は本当にありがたかった。
 - ・ 出迎えの車中で「最初で最後になるだろうが、日本のコンテナを見たかったし、『日本茶』をごちそうになりたかった。」と大佐が言う。我々としても、お茶だけでなくもつともてなしたかったが、わずか10数分間の日本コンテナ訪問だった。記念写真を撮り、メールアドレスを交換して別れた。……新しいメル友ができた。(国井)
- いつ帰れるんだ?
- ・ MNF-Iの司令官報告(BUA)でも、アラブ、欧米等の報道内容について報告される。各国や国連の米国批判報道や、ケーシー司令官の批判報道等も遠慮なく報告される。普段のブリーフアーは [] の批判報道等も淡々とした口調で報告している。司令官も超然とした表情で報告を受け、反論・コメントは一切されない。
 - ・ 昨日のBUAでは、ラムズフェルド国防長官が記者会見の中で、「米国大統領が [] の任期延長」を決定した。」と語った事が報告された。
 - ・ これを聞いた司令官は、「聞いてないよ……俺はいつ帰れるんだ……?」
 - ・ 司令官が聞いてないとは思えないが、帰国を間近に控えた者も、赴任間もない者も、大笑いしていた。日頃は常にクールに報告しているブリーフアーも、この時は、笑い出した。
 - ・ 普段は、司令官がジョークを飛ばしても、ジョークの意味が分からず、一人笑えずに寂しい思いをすることが多いが、この時は雰囲気ジョークの意味が分かり、私ですら笑えた。(国井)
- 多国籍軍風寄せ書き
- ・ 本日の夕方、まもなく帰国される [] の送別会がある。コアリッション作戦部長 [] (伊空軍) 以下、コリッション事務所一同からの記念品として、寄せ書きの色紙を作成した。
 - ・ 日の丸が印刷され、日本人の記入場所が指定された欄に、ローマ字で小さく、漢字ででかく自分の名前を書いた。各国LOもそれぞれの国の文字と英語でそれぞれのサインを書いていた。多国籍軍風の楽しい寄せ書きができた。(国井)



バスラLO日々業務報告(1月17日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 [] (警戒態勢): []
2 特記事項	(1) [] (2) []
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集: [] (3) 定例会議への出席: 司令部朝会議・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) 空路輸送調整 (5) 業務申し送り
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議への出席 (3) 空路輸送調整 (4) 業務申し送り
5 その他(備考)	